

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。

さっぽろ 市議団ニュース

<第1回定例会>

2018年3月16日

No. 185

日本共産党札幌市議団 事務局
tel 211-3221 / fax 218-5124

介護保険料の引き上げ中止を求める陳情が審議 ——一般会計からくり入れ、引き上げ止めよ！

平岡大介議員が質問

札幌社会保障推進協議会、全日本年金者組合札幌市支部協議会、介護される人もする人もみんな笑顔に！北海道連絡会が提出した「次期介護保険料の引き上げ中止を求める陳情」が14日、予算特別委員会で審議され日本共産党の平岡大介議員が質問にたちました。

65歳以上の第1号保険料（基準額）を5,177円から5,773円に引き上げる市の計画に対して、年金者組合の代表と勤医協西在宅センター副センター長は、「年金引き下げのなかで医療・介護にかかる高齢者の負担は大変なもの」「食費やストーブの火も小さくして節約し、必要な介護サービスを経済的理由で利用せず、いつ体調が悪化してもおかしくない利用者がいる」と実情を訴えました。

日本共産党の平岡議員は、「2005年の制度開始時の保険料2,311円（全国平均）が改定のたびに引き上げられ、厚労省は2025年には8,000円を超えると試算している。スタート時から3.5倍にもなり、とても払える金額ではない。すでに制度として成り立っていないのではないかとただしました。

岡島地域包括ケア推進担当部長は、「制度の持続可能性を高めるために国は3年に1度見直しを行っている。市としても効果的、効率的な事業運営に努めたい」と答弁。平岡議員は、「際限なく保険料が引き上げられる現在の制度を、国庫負担を大幅に増やすなど根本から見直すよう全国市長会として要望すべき」「本市も一般会計からの繰り入れを行い、引き上げはすべきでない」と求めました。

陳情に賛同する114団体の署名が提出され、採決は27日の予算特別委員会と29日の本会議で行われます。

ALT（外国語指導助手）の労働条件改善を——社会 保険への加入、直接雇用に変換せよ！

伊藤りち子議員が質問

日本共産党の伊藤りち子議員は14日、予算特別委員会でALT（外国語指導助手）について質問しました。

ALTは、市内の小中高校に派遣され担当教員とともに英語の授業を行っていますが、低賃金で社会保険にも未加入など劣悪な状態で、この間、その改善をくり返し求めてきました。

伊藤議員は、2016年10月から社会保険の適用拡大がはかられたとのべ、「ALTの勤務条件は1日最大で6時限であり社会保険加入の対象となる方もいると考えるが、その周知と適正な運用ははかられているのか」「必要な経費が委託費に見込まれているのか」とただしました。

引地学校教育部長は、「契約上明記しており適切に運用されているものと認識しており、社会保険料も含め積算している」とのべました。

伊藤議員は、業務委託となっているALTの雇用形態について、「教育長（当時）が『検討する』と答弁していたがどのように検討したのか」「業務委託では担当教員と互いに協力して授業を進めるチームティーチングが“偽装請負”とされるために機能しない問題について、現場の教師の声を聞いているのか」とただしました。

引地部長は、「契約方法を変更した場合の影響など引き続き調査研究している」「教員はALTに対して直接指示することができないなど、運用における不便な点も聞いている」と答弁。伊藤議員は、「業務委託によってチームティーチングが機能しないなどということが教育現場であってはならない」と指摘し、「1日も早く直接雇用にすべきだ」と求めました。